

■情報統制のなかの番号法と秘密法

2014.6.18/渋谷区立千駄ヶ谷区民会館

1 進むイデオロギー統制と情報統制

- ・第一次安倍政権の失敗と継承 後者、カウンターインテリジェンスの推進など
- ・世論とイデオロギーの形成、統制 情報、言論、メディア、教育、文化など
- ・組織的、系統的な情報統制の推進

2 秘密保護法制定の新しい局面

- ① 国家秘密の格差付けと拡張 特に、外事・公安警察情報の秘匿強化
- ② 取得の処罰化と共謀・教唆・扇動の処罰化
- ③ 秘密の管理への規制強化 適性評価制度の導入
- ④ 新たな情報・諜報機関創設とのリンク SNC とともに

3 共通番号法と秘密保護法

(1) 情報統制の両輪としての番号法と秘密法

- ・2013年「お上」の立場からの情報の統制・コントロールの両輪となる制度の確立
- ▼秘密保護法 重要な国の情報について秘匿を強め、禁圧する立法
- ▼共通番号法 市民に番号を付し個人情報をコンピュータで一元収集、管理、利用

(2) 具体的な交錯場面

- ① 外事・公安警察 秘密法で情報の秘匿化 共通番号法で捜査機関への情報提供
- ② 秘密法下の適性評価と番号情報のリンク 番号法で管理する個人情報の利用も

4 秘密保護法後の情報統制の方向

(1) 治安的表現規制

- ・青少年保護の観点からの規制 児童ポルノ法改正 青少年健全育成基本法案
- ・人権委員会設置法案 行政機関による表現、メディア規制

(2) 市民への情報監視

- ・盗聴法改正 対象拡大 将来、室内盗聴も
- ・通信履歴の保存の法的義務付け 捜査関連でない通信履歴も対象に

(3) オリンピックのためのテロ対策

- ・共謀罪の創設 盗聴、市民監視が不可欠
- ・テロ新法 国内でのテロ指定化と資金凍結

(4) メディア支配

- ・特に、NHK 経営委員への組織的送り込みと会長擁立

(5) 改憲による情報統制 ・自民党・憲法改正草案

- ・「公益及び公の秩序」による表現の自由と人権の制限
- ・軍事統制の強化 自衛軍の秘密保護立法化 軍法会議

[参考文献] 別冊法学セミナー『特定秘密保護法とその先にあるもの』日本評論社